

第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

1 単元名

仕事と自分

2 単元の見目標

資料や職場体験から、どの仕事も尊いものであることや仕事をするには働く人の努力と周りの人との関わりの中で成り立っていることに気づき、学級の係に対する自分の見方を見つめ直し、学級のために自分がすべきことを誠実にしたり、仲間の頑張りを認めたりする意識を育てる。

3 単元の流れ(9時間) 職場体験学習にかかわる時間(15時間) 全24時間

時	時案名	ねらい	学習活動	資料	評価規準
1	やってみたい仕事①	人を大切にすることの大切さに気づく。	【気づく】 ・DVD(前半)の視聴 ・仕事に向かうFさんの気持ちを考える。 ・感謝の気持ちで働くことについて考える。	「仕事ハッケン伝」前半	関わる人とのことを思って働くことが大切であることを記述、発言している。
2	やってみたい仕事②	関わる人を大切に思いながら働くFさんの姿を観ることを通して、一生懸命働くことが自分を育てることになると気付く。	【気づく】 ・DVD(後半)の視聴 ・まわりの人に認めってもらったFさんの気持ちを考える。 ・一生懸命働くことについて考える。	「仕事ハッケン伝」後半	一生懸命に働くことがまわりの人や自分のためになるという記述や発言をしている。
3	やりたい仕事 やりたくない仕事	やりたくない仕事について考えることを通して、自分は仕事を印象だけで決めていたり、優劣をつけていたりすることが分かる。	【わかる】 ・自分がしたい仕事と したくない仕事を考える。 ・印象だけで決めていることに気づく。		自分は仕事に優劣をつけていることに気付いた記述、発言をしている。
4	さらば “ニート”	ニートの状態から抜け出そうとする若者の姿を観ることを通して、働けない状態の苦しさに気づき、今の自分たちの姿勢と同じことに気付く。	【気づく】 ・「ニート」のイメージについて交流する。 ・DVDを視聴する。 ・感想を交流する。	特報首都圏さらば“ニート”～支援施設の若者たち～	ニートの状態は苦しいことが理解できた記述、発言をしている。
5	福祉の仕事①	介護福祉士の方が働く様子を見て、利用者を大切に思って働くことの大切さに気付く。	【気づく】 ・DVDを視聴する。 ・感想を交流する。	「あしたをつかめ 平成若者仕事図鑑(No.177 笑顔を支えたい 介護	Kさんが利用者のことを大切にしている記述、発言をしている。

				福祉士)」	
6 ※ 本時	福祉の 仕事②	自分がKさんのように働けるかを、Kさん及び関わる利用者の思いを踏まえて考えることを通して、人との関わりの中に働く喜びや価値があることがわかる。	【わかる】 ・Kさんが頑張って働ける理由を考える。 ・自分ならできるかどうか考える。 ・利用者の気持ちを考える。	前時のメモ	自分のことだけでなく相手のことを考えて働くことが仕事をやる喜びや価値につながるという記述、発言をしている。
7 ～ 21 2 日 間	職場 体験 振り返り	体験を通して働くことの大変さや仕事をする上で大切なことを理解する。 自分の働きぶりを客観的に振り返ることができる。	・体験の7Pを取り、必要なものを確認して、お願いをする。 ・体験学習をする。 ・仕事をする上で大切にされていることを教えてもらおう。 ・1日ごとに振り返りを書く。 ・体験したことや考えたことを新聞にまとめる。	職場体験学習のしおり	真剣に働いている。 体験先で学んだ仕事をする上で大切なことを記述している。
22	働くうえで大切なことは	働くうえで大切だと思うことを交流する中で、自分の仕事の姿を振り返り、自分見つけめをする。	【見つめる】 ・働くうえで大切だと思うことを付箋に書き、班で交流する。 ・全体で上記内容を確認する。 ・自分の係の仕事を見つめ直し、自分が大切にすべきことを考える。	前時までの学習プリント	働くうえで大切なことをつかみ、自分が努力すべきことを記述している。
23	仕事を自信につなげる	清掃の仕事をする新津さんの姿を観ることを通して、懸命に働くことが自信につながることに気づく。	【気づく】 ・DVDを視聴する。 ・感想を書く。	「プロフェッショナル仕事の流儀 NEW 心を込めて、当たり前前の日常をビル清掃 新津春子」	努力を積み重ねて働くことが自信につながるということ記述している。
24	今の自分の仕事	今までの学習をもとに、仲間の頑張りを認めていくとともに、仲間の中で役割を果たすために頑張ろうとする意欲をもつ。	【のりこえる】 ・今までの学習で学んだことを交流する。 ・仕事の向こう側には人がいることを確かめる。 ・今の自分が頑張りたいことを交流する。	本時までに学習したノート	仕事は人に関わることを理解し、自分がこれから努力すべきことを記述、発言している。

本時の目標：自分が K さんのように働けるかを、K さん及び関わる利用者の思いを踏まえて考えることを通して、人との関わりの中に働く喜びや価値があることがわかる。

本時の展開（第 6 時：福祉の仕事②）

段階	主な学習活動	留意点と評価			
導入	<p>【わかる】</p> <p>1 前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K さんは「利用者さんに合わせる」「笑顔を見たい」という思いで仕事をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ K さんの職業観・勤労観を示し、利用者の方とどう関わっていたか確認する。 ・ 福祉の仕事に偏見がないようにする。 			
展開	<p>2 課題を確認する。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>自分は K さんのように働けるか</p> </div> <p>3 自分の意見をどの立場に当てはまるか書く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>働ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜ばれると嬉しい。 ・ 大変だけど達成感 </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>働けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 責任が大きい ・ 面倒くさい ・ 自分には無理 </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>迷う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際にできるか不安 ・ できるか自信がない。 </td> </tr> </table> <p>4 班ごとに意見をホワイトボードに書いて交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立場ごとに意見を分けて名前を書き、どんな思いでその立場を選んだか理由を交流する。 <p>5 班で交流した意見を全体で深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働けないを選んだ人は「責任が大きい」や「面倒くさい」という理由が多い。そこには自分にはできない、やりたくないという思いがある。 ・ 迷うを選んだ人は「実際にできるか不安」や「自信がない」という理由が多い。そこには失敗したらどうしよう、できなかつたらどうしようという思いがある。 ・ 働けるを選んだ人は「喜んでもらうのが嬉しい」や「達成感がある」という理由がある。そこには相手のためを思って働いている思いがある。 	<p>働ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜ばれると嬉しい。 ・ 大変だけど達成感 	<p>働けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 責任が大きい ・ 面倒くさい ・ 自分には無理 	<p>迷う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際にできるか不安 ・ できるか自信がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大変だという思いや、自分にはできないという率直な感想を認める。 ・ 「働ける」を選んだ生徒の意見の後に「Kさん嫌だと思ってしまうことではないか」と発問することで、大変なことの中にもやりがいや喜びがあると考えさせるきっかけを作る。 ・ 「UさんやAさんはどんな気持ちでKさんの介助を受けているのだろうか」と問い、2人の気持ちを考えることで、相手の立場に立って考えられるようにする。 ・ 利用者の気持ちを考えた後、学級で係活動を頑張っている生徒に「どんな思いで係活動を頑張っているのか」を話してもらい、自己みつめのきっかけをつかむ。
<p>働ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜ばれると嬉しい。 ・ 大変だけど達成感 	<p>働けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 責任が大きい ・ 面倒くさい ・ 自分には無理 	<p>迷う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際にできるか不安 ・ できるか自信がない。 			
終末	<p>6 本時に考えたことを最初の意見と比較しプリントに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分も K さんのように相手のために働けたら良いと思った。 ・ K さんは自分の都合でなく、利用者さんのことを思いやって仕事をしているから頑張って働けるのだと思った。 ・ K さんのような考えで係の仕事をしている仲間がいてすごいと思った。 ・ K さんのような考え方があることを知って、自分だけでなく相手のことを思いやって働くのはすごい考え方だと思った。 ・ 自分は K さんようにはなれないけど、誰かのために頑張る K さんはすごいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分だけでなく、相手のことを考えて働くことが仕事をやる喜びや価値につながることに気付くことができる。 			